



東証1部 3064

2014年12月期決算説明会

2015年2月3日

株式会社 MonotaRO

www.monotaro.com

事業概要と特長・差別化戦略

 主な事業内容	インターネット等を利用した工場・工事用間接資材、自動車アフターマーケット商品の通信販売 商品点数：800万点，在庫点数：20万点（直送品を含む当日出荷点数：30万点）
 販売商品の特長	種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要
 従業員数	【連結】 正社員 242名 アルバイト・派遣社員 744名
 主な競合	訪問工具商・金物屋・自動車部品商、インターネット通販サイト等
 主な顧客層	製造業・工事業・自動車整備業等（中小企業が中心顧客）
 市場規模	5～10兆円
 経営戦略	①インターネットを活用した通信販売で規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化を図る ②累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客の囲い込みを図る ③自社にてのソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性をあげる
 課題	◆当社が提供するサービス・利便性に対して市場での一層の認知を得ること ◆成長を先取りするインフラストラクチャーを構築すること

2014年12月期 【(株)MonotaRO単体】 決算の概要

【株MonotaRO単体】



2014年度 損益計算書サマリー

	2013年度実績		2014年度計画		2014年度実績			
	金額	売上高	金額	売上高	金額	売上高	前年比	計画比
	(百万円)	比率	(百万円)	比率	(百万円)	比率		
売上高	34,484		43,920		44,057		+27.8%	+0.3%
売上 総利益	10,403	30.2%	12,824	29.2%	12,788	29.0%	+22.9%	-0.3%
販売 管理費	6,325	18.3%	8,169	18.6%	8,172	18.5%	+29.2%	+0.0%
営業利益	4,077	11.8%	4,654	10.6%	4,616	10.5%	+13.2%	-0.8%
経常利益	4,104	11.9%	4,672	10.6%	4,651	10.6%	+13.3%	-0.5%
当期 純利益	2,492	7.2%	2,858	6.5%	2,843	6.5%	+14.1%	-0.5%

【(株)MonotaRO単体】



2014年度 貸借対照表サマリー



	2013年	2014年12月			2013年	2014年12月	
	12月	(百万円)	構成比		12月	(百万円)	構成比
資産の部				負債の部			
現預金	4,158	4,002	22.1%	買掛金	2,666	3,581	19.8%
売掛金	3,757	4,866	26.8%	短期借入金等※	1,388	814	4.5%
棚卸資産	3,211	3,916	21.6%	その他	2,698	3,027	16.7%
その他	1,395	1,816	10.0%	流動負債合計	6,753	7,423	40.9%
流動資産合計	12,522	14,602	80.6%	固定負債	359	1,060	5.8%
有形固定資産	388	1,085	6.0%	負債合計	7,113	8,483	46.8%
無形固定資産	820	912	5.0%	純資産の部			
投資その他資産	911	1,527	8.4%	株主資本合計	7,456	9,574	52.8%
固定資産合計	2,120	3,525	19.4%	新株予約権	73	70	0.4%
資産合計	14,643	18,128		純資産合計	7,530	9,645	53.2%
				負債・純資産合計	14,643	18,128	

※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【(株)MonotaRO単体】



2014年度 決算の概略

◆売上 44,057百万円（前年比+27.8% 計画比+0.3%）

- ・新規獲得顧客がリスティング広告、TVCM等による積極的なプロモーションにより継続的に加速

月間新規獲得口座数
（千口座）

2013年 平均	2014			
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均
20.0	22.1	23.4	25.3	26.3

- ・既存顧客の売上も、取扱い商品拡大による顧客あたり購入商品点数の増加に加え、需要の回復や消費税の影響で大きく伸長

◆売上総利益 12,788百万円（前年比+22.9% 計画比-0.3%）

- ・売上総利益率は29.0%と前年比1.2%低下、円安・商品ミックスの影響による
- ・4Qに改善したものの、急速な円安により計画には届かず

◆販売管理費 8,172百万円（前年比+29.2% 計画比+0.04%）

- ・主に新物流センター開設に伴う設備賃借料の増加により対売上比は0.2ポイント悪化
ただし、4Qにおいては前年同期比で0.9ポイント改善

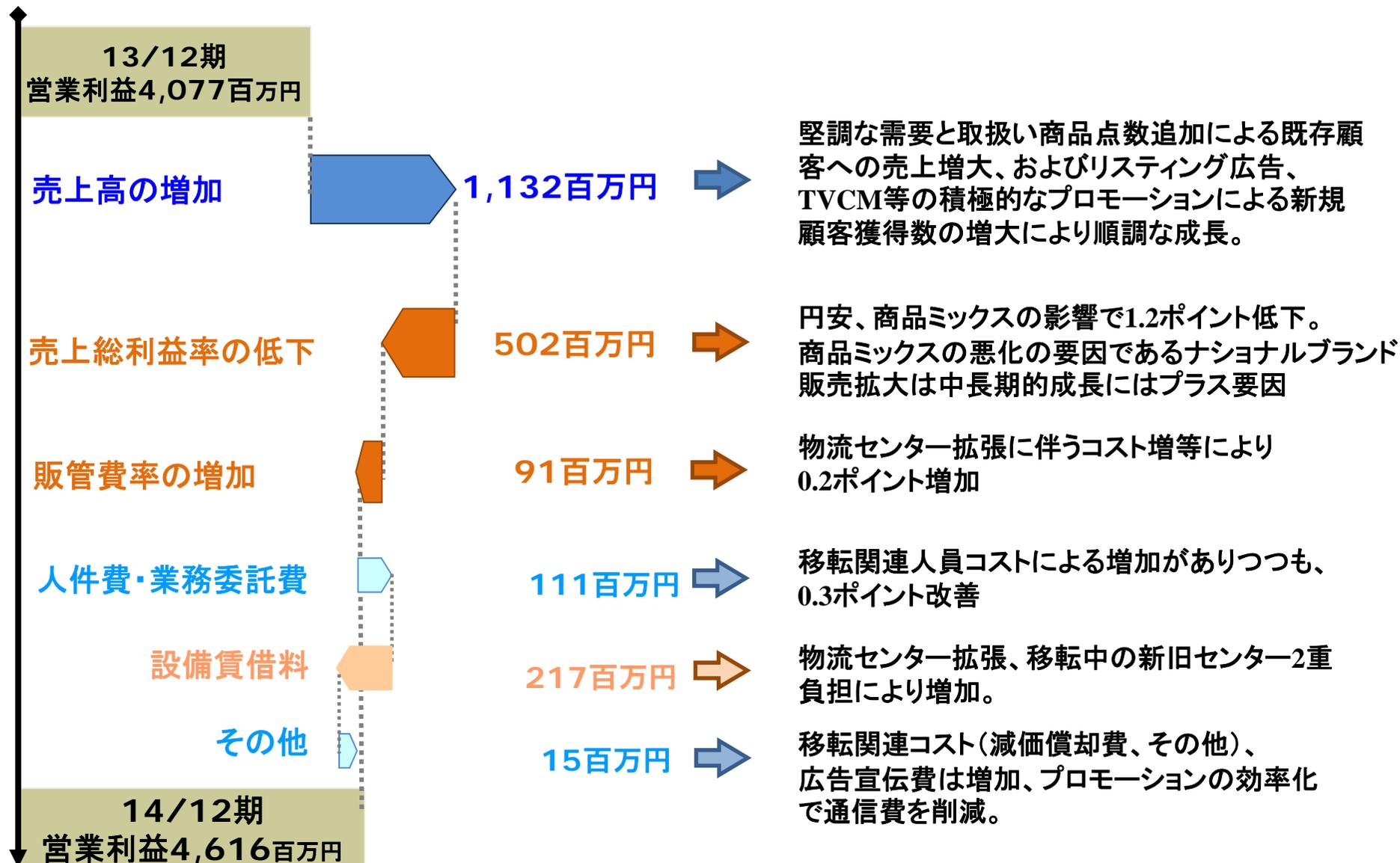
◆営業利益 4,616百万円（前年比+13.2% 計画比-0.8%）

- ・今後の成長に対応するインフラ強化（物流センター増強）に充てた期間であり、円安の影響も加わり営業利益率は一旦低下したが、順調な売上成長、4Qにおける新物流センターの効率化など次年度以降における成長につながる成果を得た。

【(株)MonotaRO単体】



営業利益の増減要因分析



金額は増減要因金額は比率変化による変動額で実変動金額ではありません。



2014年12月期 【連結】決算の概要



【連結】2014年度 損益計算書サマリー



	2013年度実績		2014年計画		2014年度実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前年比	計画比
売上高	34,556		44,684		44,937		+30.0%	+0.6%
売上 総利益	10,410	30.1%	12,910	28.9%	12,934	28.8%	+24.2%	+0.2%
販売 管理費	6,525	18.9%	8,582	19.2%	8,610	19.2%	+32.0%	+0.3%
営業利益	3,885	11.2%	4,327	9.7%	4,323	9.6%	+11.3%	-0.1%
経常利益	3,901	11.3%	4,345	9.7%	4,351	9.7%	+11.6%	+0.2%
当期 純利益	2,289	6.6%	2,531	5.7%	2,544	5.6%	+11.1%	+0.5%



【連結】2014年度 貸借対照表サマリー



	2013年12月		2014年12月	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比
資産の部				
流動資産				
現預金	4,248	29.3%	4,184	23.4%
売掛金	3,760	25.9%	4,895	27.4%
棚卸資産	3,242	22.4%	4,093	22.9%
その他	1,408	9.7%	1,831	10.3%
流動資産合計	12,660	87.3%	15,004	84.0%
固定資産				
有形固定資産	404	2.8%	1,098	6.2%
無形固定資産	870	6.0%	958	5.4%
投資その他資産	570	3.9%	806	4.5%
固定資産合計	1,845	12.7%	2,863	16.0%
資産合計	14,505		17,868	

	2013年12月		2014年12月	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比
負債の部				
流動負債				
買掛金	2,667	18.4%	3,701	20.7%
短期借入金等	1,388	9.6%	814	4.6%
その他	2,731	18.8%	3,074	17.2%
流動負債合計	6,787	46.8%	7,590	42.5%
固定負債	361	2.5%	1,061	5.9%
負債合計	7,149	49.3%	8,652	48.4%
純資産の部				
株主資本合計	7,255	50.0%	9,073	50.8%
その他	100	0.7%	142	0.8%
純資産合計	7,355	50.7%	9,216	51.6%
負債・純資産合計	14,505		17,868	

※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金



【連結】2014年度 キャッシュフローサマリー モノタロウ

区分 (百万円)	2013年度	2014年度
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	3,860	4,313
売上債権の増減額	-901	-1,129
棚卸資産の増減額	-119	-834
仕入債務の増減額	510	1,021
その他	-994	-1,501
計	2,354	1,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	-160	-147
無形固定資産取得による支出	-374	-448
その他	-437	-261
計	-972	-857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	-605	-792
その他	331	-315
計	-274	-1,107
現金及現金同等物に係る換算差額	15	31
現金及び現金同等物の増減額	1,123	-64
現金及び現金同等物の期首残高	2,825	3,948
現金及び現金同等物の期末残高	3,948	3,884

2015年12月期 事業計画、戦略



2015年度 事業計画【MonotaRO単体】

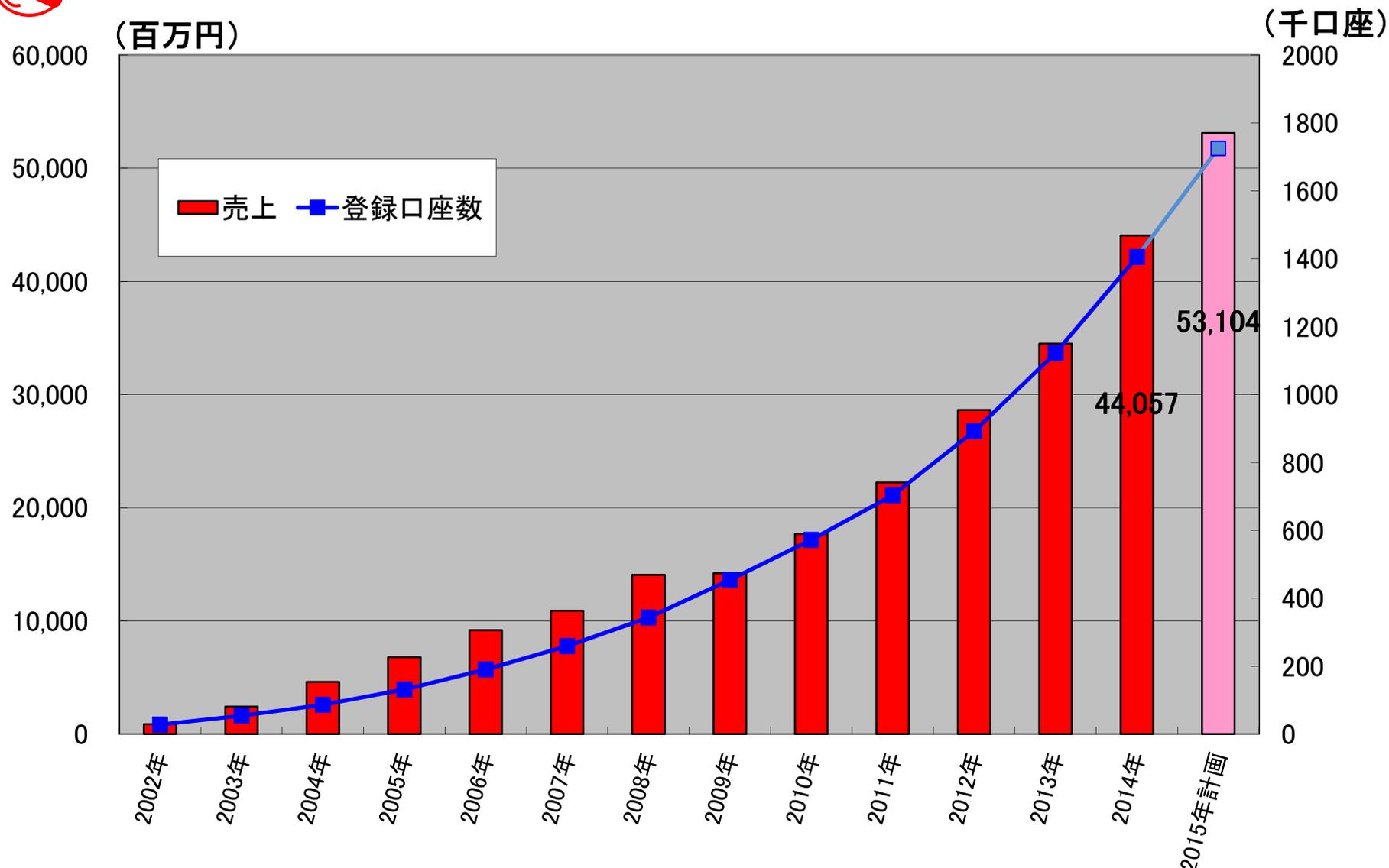


	2014/12期 実績		2015/12期 計画			
	(百万円)	金額	売上比	金額	売上比	前年比
売上高		44,057		53,104		+20.5%
売上総利益		12,788	29.0%	15,755	29.7%	+23.2%
販売管理費		8,172	18.5%	9,372	17.6%	+14.7%
営業利益		4,616	10.5%	6,382	12.0%	+38.3%
経常利益		4,651	10.6%	6,382	12.0%	+37.2%
当期純利益		2,843	6.5%	4,089	7.7%	+43.8%

	2015/1-6月期			2015/7-12月期			
	(百万円)	金額	売上比	前年比	金額	売上比	前年比
売上高		25,046		+19.0%	28,058		+22.0%
売上総利益		7,432	29.7%	+22.3%	8,322	29.7%	+24.0%
販売管理費		4,511	18.0%	+20.9%	4,861	17.3%	+9.4%
営業利益		2,920	11.7%	+24.4%	3,461	12.3%	+52.7%
経常利益		2,921	11.7%	+23.1%	3,461	12.3%	+52.0%
当期純利益		1,871	7.5%	+27.5%	2,217	7.9%	+61.1%



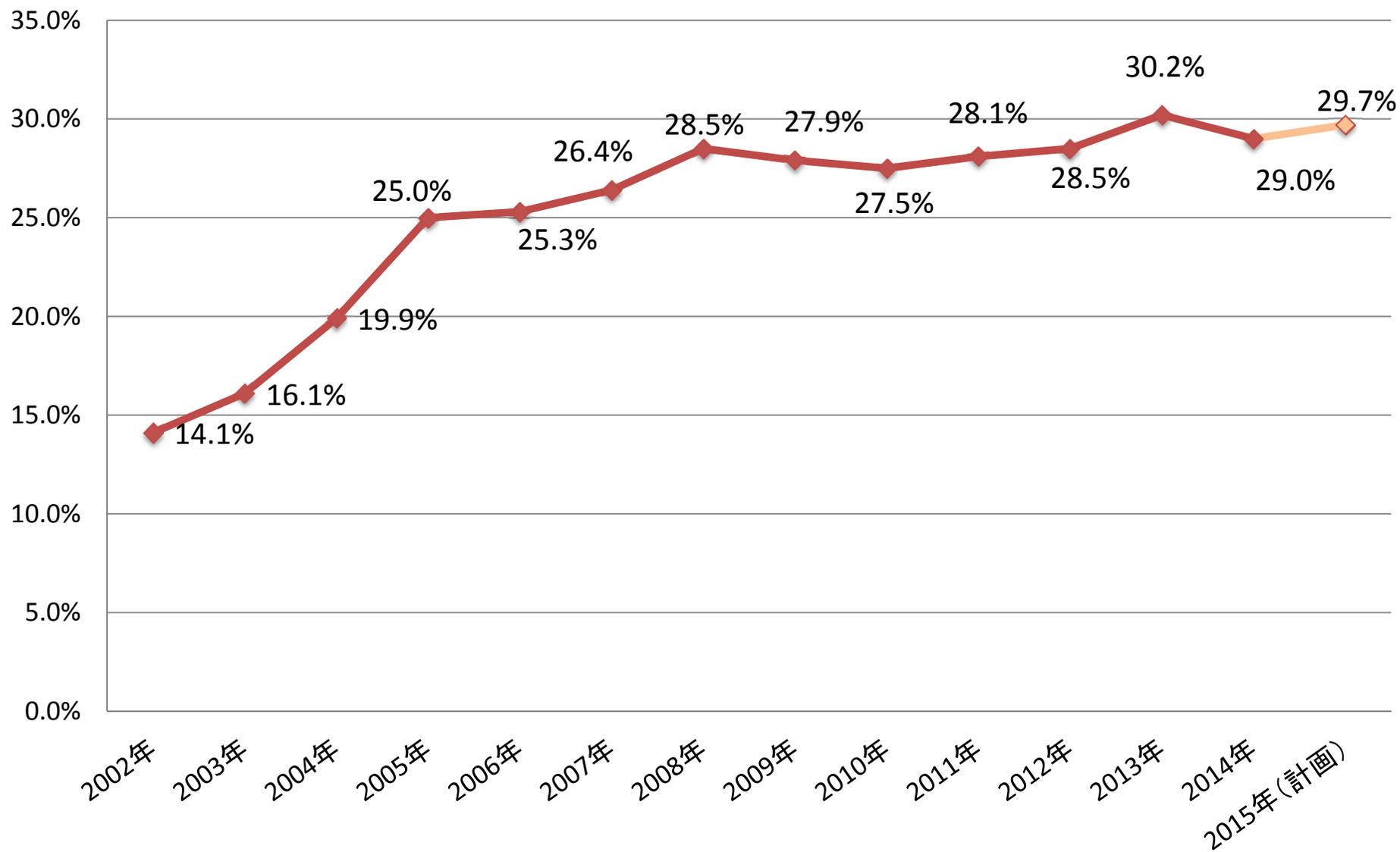
【(株)MonotaRO単体】売上高と顧客数の推移



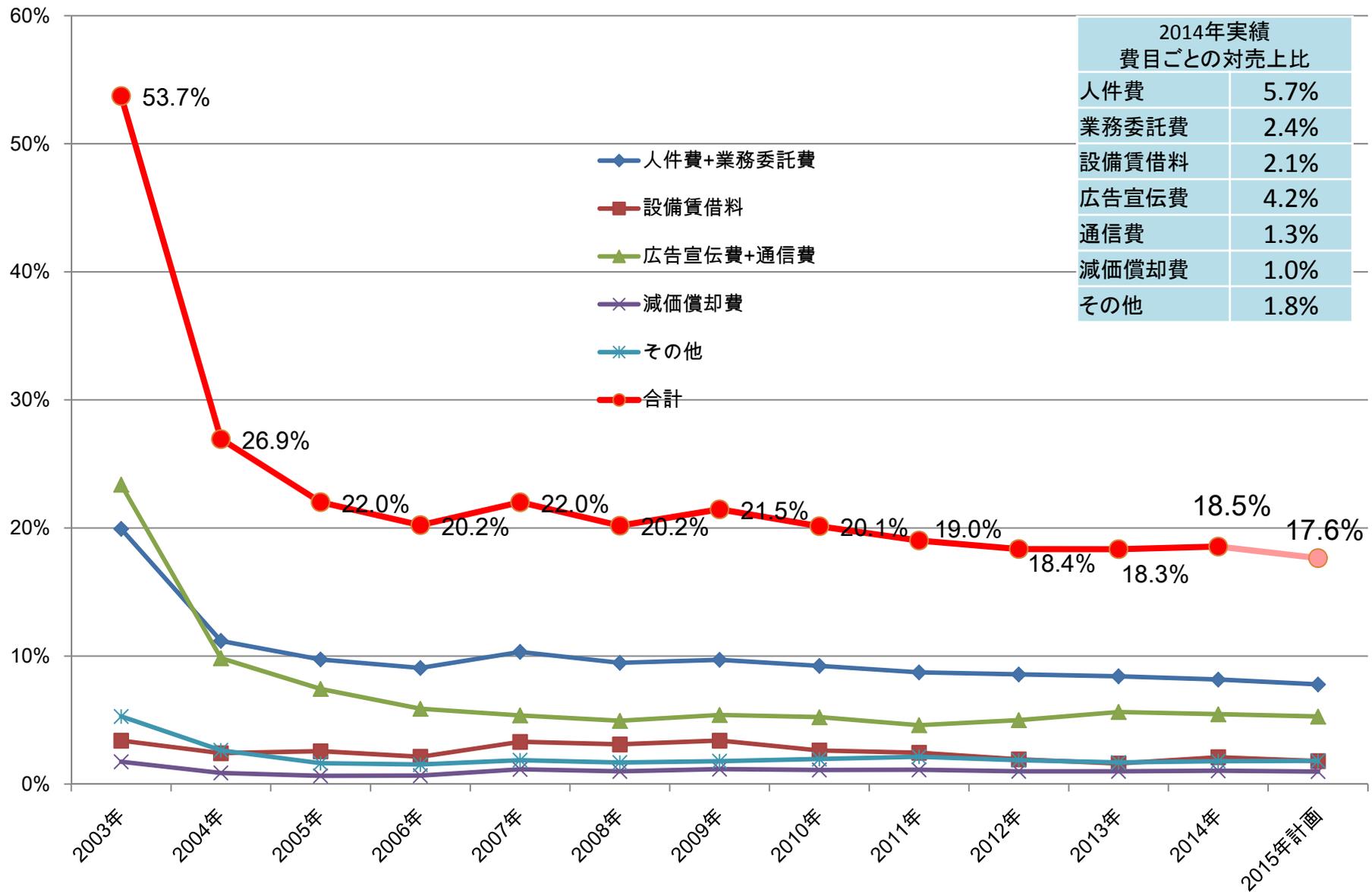
2013年12月 1,122,291口座	➡	2014年12月 1,405,372口座 (+283,081)	➡	2015年12月(計画) 1,737,372口座 (+320,000)
-------------------------	---	------------------------------------	---	--



【(株)MonotaRO単体】売上総利益率の推移



【(株)MonotaRO単体】販売管理費(対売上高)の推移



2014年実績 費目ごとの対売上比	
人件費	5.7%
業務委託費	2.4%
設備賃借料	2.1%
広告宣伝費	4.2%
通信費	1.3%
減価償却費	1.0%
その他	1.8%



2015年度 事業計画【連結】



	2014/12期 実績		2015/12期 計画			
	(百万円)	金額	売上比	金額	売上比	前年比
売上高		44,937		55,617		+23.8%
売上総利益		12,934	28.8%	16,142	29.0%	+24.8%
販売管理費		8,610	19.2%	10,139	18.2%	+17.8%
営業利益		4,323	9.6%	6,003	10.8%	+38.8%
経常利益		4,351	9.7%	5,999	10.8%	+37.9%
当期純利益		2,544	5.7%	3,706	6.7%	+45.7%

	2015/1-6月期			2015/7-12月期			
	(百万円)	金額	売上比	前年比	金額	売上比	前年比
売上高		26,097		+22.5%	29,520		+24.9%
売上総利益		7,580	29.0%	+23.7%	8,561	29.0%	+25.8%
販売管理費		4,855	18.6%	+24.1%	5,283	17.9%	+12.5%
営業利益		2,724	10.4%	+22.8%	3,278	11.1%	+55.7%
経常利益		2,723	10.4%	+21.4%	3,276	11.1%	+55.4%
当期純利益		1,673	6.4%	+25.1%	2,032	6.9%	+68.5%



2015年度 事業計画 概略

- ◆売上高 55,617百万円 前年比 23.8%増
既存顧客においては前年並みの需要を前提とし、取扱商品・在庫商品の拡大による購買拡大を見込む。
プロモーション強化により前年以上の新規顧客獲得を計画。
韓国子会社の売上計画は25億円。
- ◆売上総利益 16,142百万円 前年比 24.8%増
販売・仕入価格の見直し、在庫拡充による配送効率改善、ロイヤリティ収入の増加により、売上総利益率の改善を計画。
- ◆販売管理費 10,139百万円 前年比 17.8%増
新物流センター稼働による人件費・業務委託費等の効率化によって、販売管理費率の1ポイント改善を見込む。
カタログ発刊時期の分割により、一部広告宣伝費が前年対比で上期にシフト。
- ◆営業利益 6,003百万円 前年比 38.8%増
前年の物流センター増強による効率的オペレーションで利益率を改善。
韓国事業はおよそ3.8億の営業損失を見込む。
- ◆純利益 3,706百万円 前年比 45.7%増
配当を1株あたり20円(中間・期末に各10円)に増配を計画。

2015年度 事業戦略-1/2

◆間接資材購買プラットフォームの

デファクトスタンダード構築を推進

- ・顧客ベースの拡大
引き続きインターネット広告を軸にTVCM等も用いた積極的なプロモーションにより獲得ペースの拡大を図る。
- ・商品ベースの拡大
2014年度に開始した農業資材、厨房用品等新規カテゴリの拡充、取扱いブランドの拡張、データ分析により把捉される顧客需要への対応。プライベートブランドの開発にも注力。
- ・購買サイトの利便性向上
検索エンジン・サイトデザインの継続的改善。
顧客の検索行動を即座に解析し最適なレスポンスを実現するシステム構築を推進。

◆海外展開

- ・韓国子会社「Navimro」
2014年度は当初計画を76%上回る売上成長。
将来の黒字化に向けた顧客基盤の拡大、物流センターの在庫・出荷能力を強化。
- ・海外コンサル事業
アメリカ、欧州ともに順調に進捗、ロイヤリティ収入増加
- ・東南アジア向け輸出においても売上拡大



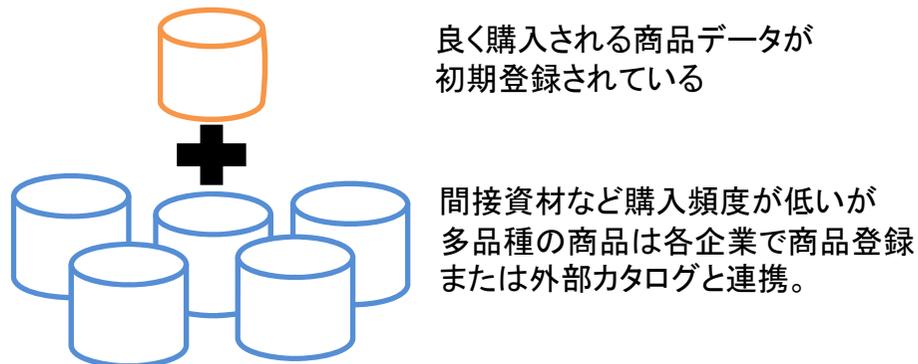
◆大企業連携の推進

- ・2014年度は連携社数46社増加し166社、売上は+105%と倍増。
- ・当社開発の購買管理システム「One Source」の導入推進。
1社に試験導入済み、引き続き本格導入、拡大に注力

購買管理システム「One Source」

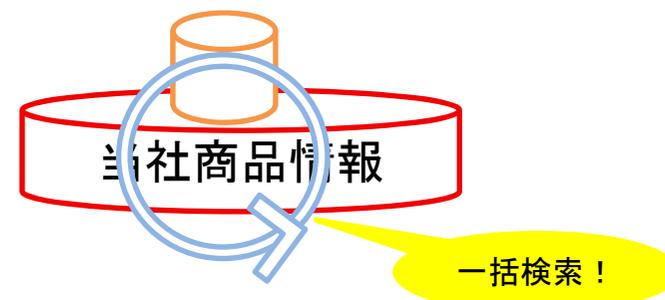
従来型購買管理システムが対象とする発注～支払までの業務効率化に加えて、商品の検索・選定の効率化を実現。企業の間接資材購買において大きな負荷となる検索・選定プロセスの効率化に寄与する。

従来型購買管理システム



- ・使用頻度の低い商品情報の各企業でのメンテナンスは非効率で、実際は不可能
- ・分断された外部カタログ間ではそれぞれのカタログを検索する手間がかかり、別々のカタログに掲載された同一商品の購買条件比較が難しく最適な購買がしにくい

One Source



- ・複数の外部カタログ連携を必要としない品揃えをベースに各企業固有の購買商品データと合わせて一括検索が可能、効率的で最適な商品選定をサポートする

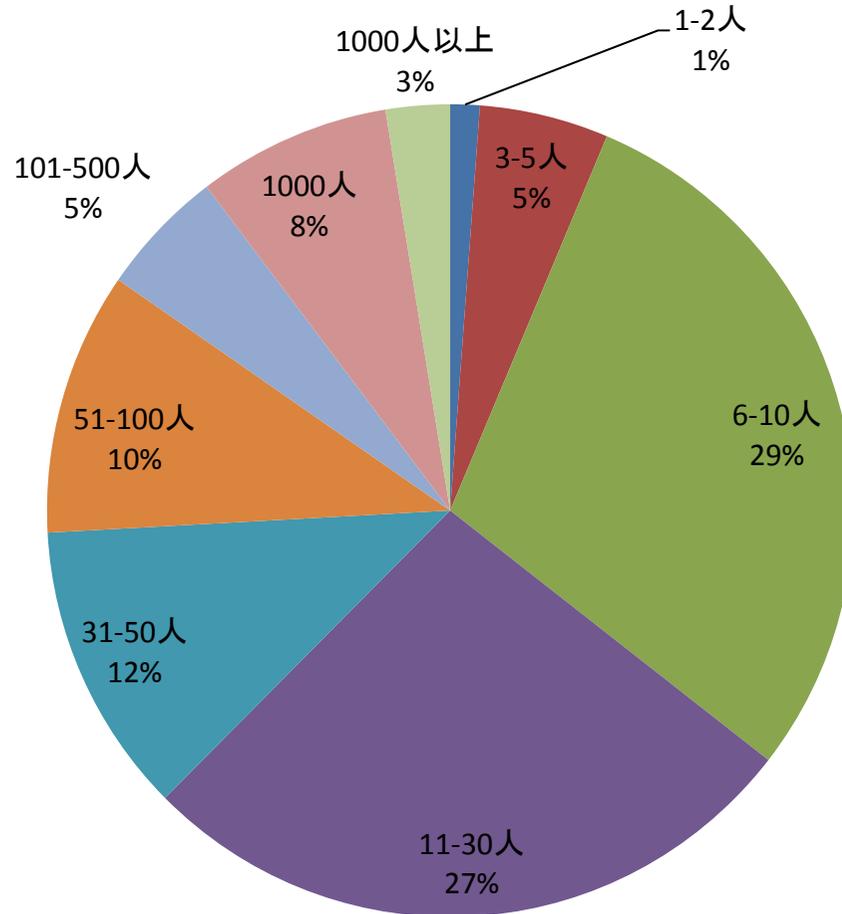
参考資料



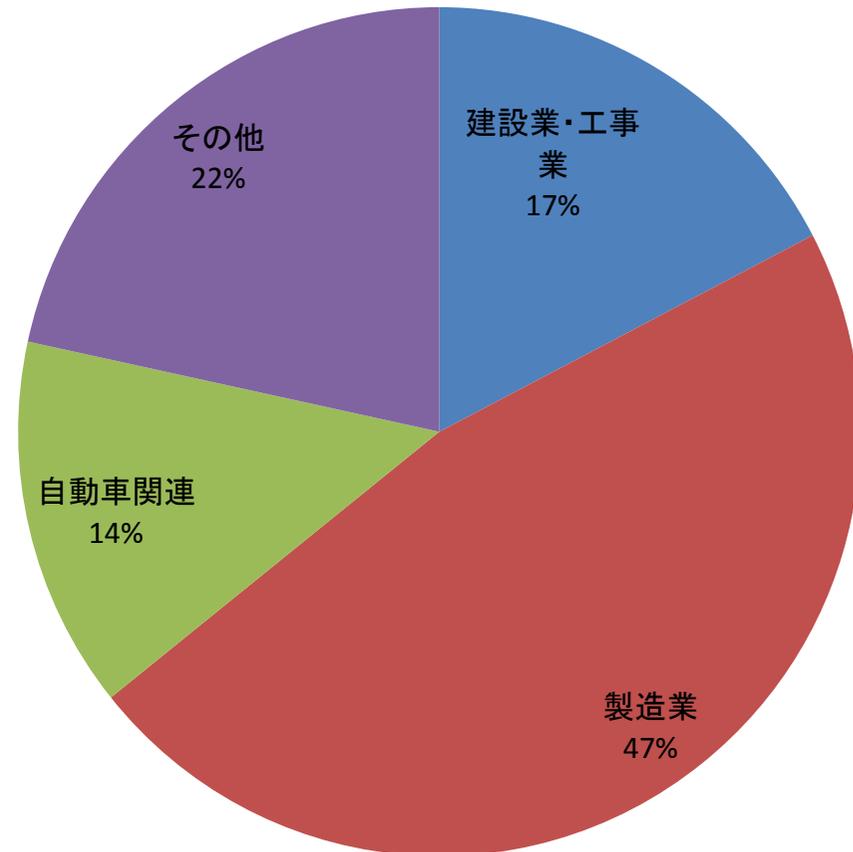
顧客属性



顧客の規模(従業員数)



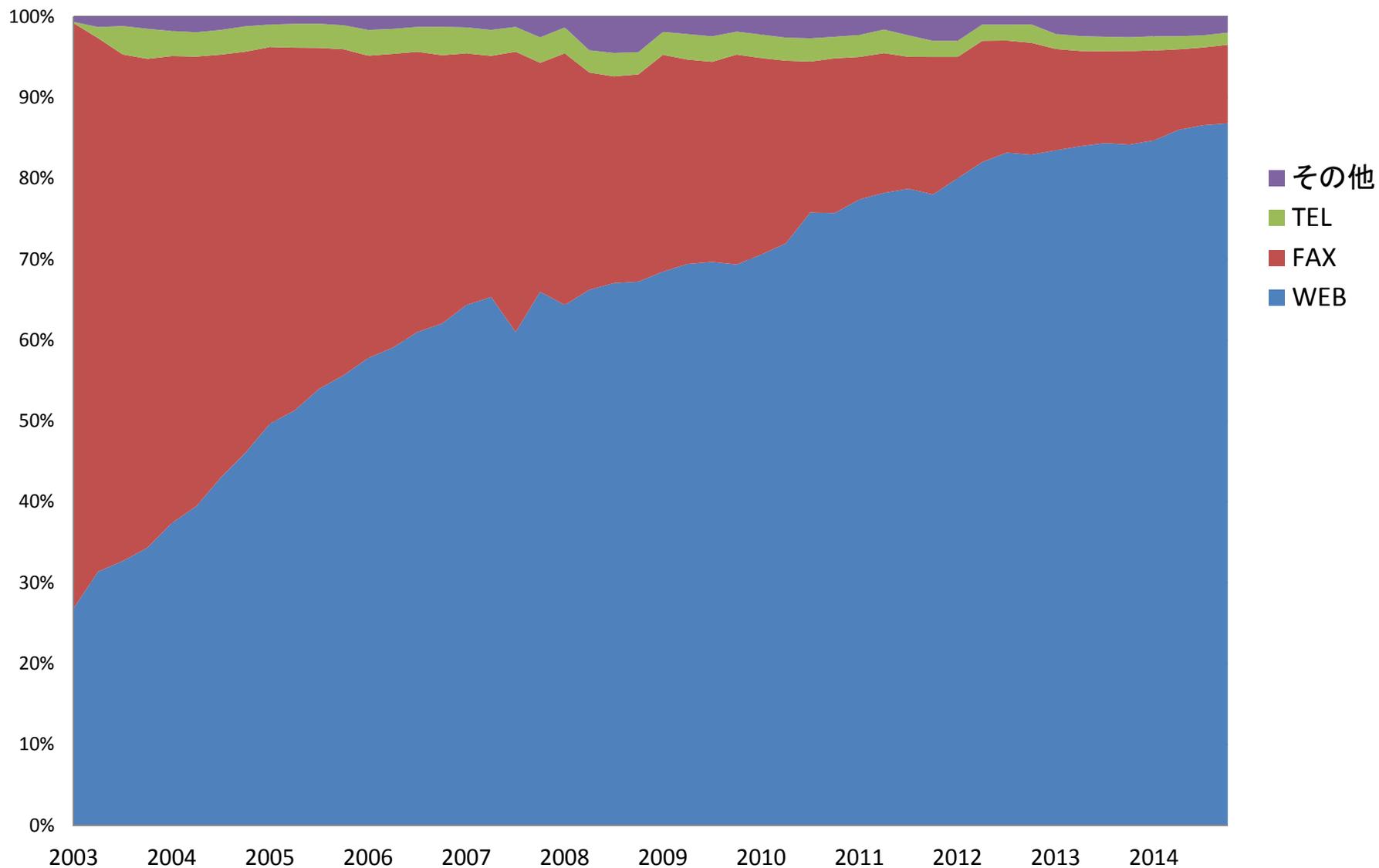
顧客の業種



2014年売上ベース



注文方法比率推移



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先

IR・広報グループ

Tel:06-4869-7190

Fax:06-4869-7178

Mail: pr@monotaro.com

IR情報:<http://www.monotaro.com/main/ir/>